

令和7年度 吉岡小の学校教育

学校教育目標 **みんななかよく笑顔いっぱい ～やればいつか必ずできる！～**
「いじめがなく、よく学び、元気に活動できる」児童の育成

経営の方針

【めざす学校像】

- 1 いじめがなく、互いを認め合える心豊かな児童を育てる学校
- 2 児童が生き生きと学び合い、わかる（できる）喜びを実感できる児童を育てる学校
- 3 強い心と強い体を持ち、元気に活動できる児童を育てる学校
- 4 教職員が誇りとゆとりをもって働き、ウェルビーイングが実感できる学校
- 5 家庭や地域と協働し、児童が安全で安心して学ぶことができる開かれた学校



【めざす児童像】

- 1 よく考え、進んで学ぶ子ども
- 2 心身ともに健康な子ども
- 3 思いやりのある子ども
- 4 やってみること（体験）から学ぶ子ども
- 5 あきらめない心と自信がもてる子ども

【めざす教師像】

- ◎ワークライフバランスを実現し、子どもの成長を喜びとして、自己実現できる教職員
- ◎子どもの心に寄り添い、児童の可能性を引き出し、伸ばすことのできる教職員
- ◎人間性豊かで、教育に対する情熱をもち、研究と修業に努める教職員
- ◎人間関係を大切にし、お互いを認め合い、児童・保護者・地域・同僚と連携できる教職員

絶対にいじめをしない子

- 個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を充実させる
- 命を大切にする教育を推進して、児童の自己肯定感と規範意識を高める
- 道徳教育及び命の教育を推進し、毎月 of 教育相談で児童の理解を深め、いじめのない（または早期対応）学校づくり
 - ・いじめの早期発見・早期対応のため、組織的な対応や教育相談体制の充実を図る

向上心をもって学び合う子

- 生徒指導の機能を生かしたわかる授業の推進による学力向上及び思考・表現力の向上
 - ・多様な学習形態、少人数指導、教科担任制を導入
 - ・ICTを効果的に活用し学びの質を高める
 - ・「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」のサイクルで「主体的・対話的で深い学び」を実現する
- 体験や本物にふれる機会を設定することで、得られる気づきや学びを通して、将来の礎を築く
- 基礎基本の定着をめざした授業・ショートスタディ（ドリルタイム）の充実
 - ・「ちばっ子チャレンジ100」「学習プリント」「ドリル」等を活用し、学力の定着を図る
- 読書活動の充実
- 学習環境の整備と学習規律の徹底
 - ・「ぐーべたぴん」のよい姿勢で学習できる
- 地域を生かした教育活動
 - ・地域人材を活用した学習活動を展開する

明るく元気な子

- 教科体育の充実と外遊びの推進
 - ・異学年交流等集団遊びを通して心身の健康を育む
- 学校と家庭の連携を生かした健康教育と食育の推進
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、基本的生活習慣を確立させる
 - ・不登校児童とその家庭に寄り添い、「ルームこすもす」等の環境を整えることで学校復帰をめざす
- 地域とのかかわりを生かした社会性の育成
- 「遊友スポーツランキングちば」の取組

特色ある教育活動

- 体験学習や本物にふれる学習機会の充実
- マチコミ、校長室便り、ホームページ等を通した積極的な学校教育活動の情報発信
- 保護者と教職員の会による支援（芸術鑑賞会、学校環境整備等）
- 学級・学年を越えて教職員が全児童に係る連携・協働体制
- 義務教育9年間を見通した連続性のある教育「あいさつ・清掃・歌声」「15歳の姿」